

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌

# CELERY

セロリ

2015.4  
April  
No.95



ミス日本コンテスト  
2015九州地区代表に  
選ばれた  
栄養科学部生の  
インタビューを掲載  
中面をCHECK!

| 特集 |

平成27年度入学式  
平成26年度学位記授与式

## 新入生・卒業生 それぞれの想い



# ミス日本コンテスト 九州地区代表に!

ミス日本コンテスト2015で九州地区代表に選ばれた川下さんを直撃!  
コンテストの思い出や将来の夢についてお話を伺いました。



## 旬のひと

新連載

第1回

栄養科学部栄養科学科4年  
川下 優さん

健康と美容に関する仕事で  
たくさんの人を喜ばせたい

「もともとは内気な性格。人前でこんな風に話をするのも苦手だったんです」と話す栄養科学部4年の川下優さん。そんな彼女を変えたのは、スカウトがきっかけで参加した2014年のミスユニバースと2015年のミス日本コンテストでした。ミス日本では見事九州地区代表に選ばれ、全国2,426名の中からたった14名のファイナリストのひとりに。残念ながらミス日本に輝くことはできませんでしたが、本選までの4カ月間、「セルフ

プレゼンテーション」や「茶の湯とおもてなし文化の講義」などのレッスンのため東京に通い、大きく成長することができました。プレゼンテーション力などさまざまな力を磨くことができましたが、周囲の支えの大切さに気づけたことが一番大きかったですね」と川下さん。貴重な経験と大学での学びや資格を活かして、「将来は健康と美容をサポートする人になって、たくさんの人を喜ばせたい」と夢を語ってくれました。

# CELERY | No.95

中村学園大学・中村学園大学短期大学部  
広報誌 [セロリ] 2015.4.30発行



平成27年度入学式 / 平成26年度学位記授与式  
02 ---- 「新入生・卒業生、それぞれの想い」

60周年記念事業  
07 ---- 新校舎竣工  
日中薬膳セミナー

卒業生インタビュー  
08 ---- 先輩に会いたい!  
九州中央病院 管理栄養士 梶原 亜希さん

新連載 /  
在学生インタビュー  
09 ---- がんばれ!中村生  
流通科学部4年 吉田 彩香さん・平林 彩奈江さん  
教育学部3年 飯田 海人さん  
キャリア開発学科2年 畠中 華菜子さん

新連載 /  
11 ---- CELERY誌面講座  
第1回 教育学部 中野 裕史准教授  
栄養科学部 熊原 秀晃講師  
「いつまでも元気で、楽しい毎日!」

Column1  
13 ---- この授業に注目!  
「中村学」 学園長 中村 量一先生

Column2  
14 ---- クラブ&サークル [フラダンス部]

15 ---- NEWS&TOPICS



中村学園大学  
中村学園大学短期大学部  
学位記授与式場



特集

平成27年度入学式  
平成26年度学位記授与式

# 新入生 卒業生

## それぞれの想い

中村学園大学・中村学園大学短期大学部では、平成27年3月13日に平成26年度学位記授与式、4月2日に入学式が行われました。中村での学生生活を終えた卒業生と、これから中村生となる新入生たちは、どのような思いで当日を迎えたのでしょうか。



〔平成27年度〕

# 入学式



## 新入生の皆さんへ 学長訓示

本日、ここに、ご来賓をはじめ、新入生の保護者・ご家族の皆様方の多数のご臨席を賜り、中村学園大学短期大学部に556名、中村学園大学に710名、中村学園大学大学院の修士課程と博士課程に12名、合計1,278名を本学に迎え、平成27年度合同入学式を挙行し、新入生の前途を祝福して下さいますこと、誠に有難く、先ず以て厚くお礼を申し上げます。

新入学生の皆さん、改めて、ご入学おめでとうございます。また、保護者・ご家族の皆様方におかれましては、さぞかし万感の思いで、この入学式をお迎えになられたことと、本学教職員を代表致しまして、心よりお慶びを申し上げます。希望に満ち、大きな可能性を秘めた新入生の皆さんを本学にお迎えできましたことは、私共教職員にとりまして、この上もない喜びです。

中村学園は、昭和29年の福岡高等栄養学校の創設から数えて61年、短期大学部では3万人以上、大学では1万人以上の卒業生を



学長 甲斐 諭

社会に送り出し、建学の精神に培われた皆さんの先輩方のご活躍によつて、本学は社会から高い評価を受けています。皆さんも本日から本学の「一員となりましたので、学園祖中村ハル先生が掲げられた建学の精神を熟知し、日々それを体現して下さい。

中村ハル先生は、第二に、日本人としての自覚を持ち、「清節の風をたつとび、感恩の情にとみ、労作にいとむ」人格の形成に努めることが重要と教えられました。清節とは高い志を持ち続けること。感恩とは保護者をはじめ、皆さんを指導して下さいる教職員の方々や成長を支援して頂く人々への感謝を怠らないこと。労作とは困難に打ち勝ち、努力して物事を達成するということです。この清節、感恩、労作の建学の精神は、皆さんが人間性を磨き、将来、社会が求める専門職業人となるための基本的な心構えを説かれたものです。

先生は、第二に、「形は心の現れである」と説かれました。本学で学ぶ学生には「中村らしさ」が求めら

### 大学 流通科学部



浅田 一成さん

将来の夢につながるような経験がしたいです。具体的にはまだ決まっていませんが、人の役に立っている仕事がいいですね。そのために、今は人とつながりを広げていくことが目標です。

### 大学 教育学部



藤島 政輝さん

これから始まる大学生活がとても楽しみです。小学校の教員免許取得が一番の目標に、保育士と幼稚園教諭の免許取得もできればと思っています。子どもの気持ちがかかる先生を目指します。

### 大学 栄養科学部



本國 万莉恵さん

今日の入学式はとても緊張していますが、調理実習などでおいしくて体に良い料理を作ることが楽しみです！管理栄養士になれるよう中村学園大学でしっかり学びたいと思います。

新  
入  
生  
コ  
メ  
ン  
ト



れます。中村学園の学生らしい服装、言葉遣い、挨拶、マナーにも、本学で学ぶ学生らしさがなければなりません。オリエンテーションなどで「中村スタイル」という小冊子を皆さん全員に配布しますので、熟読してください。

先生は、第三に、「理論と実際の統合を図り、学問と生活の融合を重んじ教育と研究に努める」ことが重要であると説かれました。本学園で学ぶ学問を実際の生活に生かしながら、合理的で、しかも人間性豊かに成長してください。

本学は、将来、皆さんが、国内は勿論のこと、アジアや欧米などの海外でも活躍できるように、本年度から開始する第6次中期総合計画に準拠して、教育を推進していきます。特に、教育目標として育成すべき三つの人材像を明示します。

第一は、建学の精神を具現化できる能動的な人材の育成です。将来の社会は層変化が激しくなると予測されますので、高いコミュニケーション力を備え、しかもアクティブラーニングを通して自ら「解」を求めて能動的に活動できる人材が必要になります。そのような人材こそが、建学の精神を具現化できる人材です。その育成を目指します。

第二は、世界と日本の架け橋となるグローバル人材の育成です。外国語の習得を通して、さらに宗教や慣習等の異文化を十分理解し、世界の舞台で活躍するとともに、国際協力にも貢献できるグローバル人材を育成します。

第三は、地域を活性化するローカル人材の育成です。自らが依って立つ地域を愛し、伝統文化を良く理解して、周囲の人々と協働して、地域を活性化できるローカル人材を自治体、教育機関、産業界と連携して育成します。

以上の望まれる三つの人材になるために、皆さんは次の三点を心掛けて、本日から学園生活を送ってください。第一点は、「自己の責任において基礎から学ぶ」ということです。本学では入学してからの補完教育などで学修支援をしていますが、もし教科に対する基本的知識が不十分であると思ったら、「基礎教育センター」で補強して下さい。自学・自修が大切です。本学は自ら学ぼうと思えば、図書館が充実しており、教職員は親切であり、二年生から大学院生まで多くの先輩がいます。逆に、自ら学ぼうとしなければ、取り残され、留年となり、やがては退学することになります。自己責任で学ぶことが、非常に重要なことです。この点が高専学校時代の学習法との決定的な違いですので、肝に銘じておいてください。

第二点は、「能動的にアクティブに学ぶこと的重要性」を認識することです。教室内の授業はもちろんです。それに加えて人間力を高めるためのボランティア活動や社会人基礎力を高めるためのインターンシップ、将来の職業選択に有益な企業訪問、生涯の友人を作るためのサークル活動などを通して、キャンパス内外で能動的に学んで下さい。授業が終わったら直ぐに学外のアルバイトに行くのでは、青春時代の時間の無駄遣いです。もしアルバイトが必要なら学生課に行き、学内スチューデント・ジョブに登録して、学内で教職員の指導を受けながらアルバイトをしてください。経済性と人間力向上という二つの効果が期待できます。

いま皆さんは生涯の中で最も輝いている青春時代の真只中にいます。部活動やサークル活動などを通して、友人を沢山作ってください。青春時代の友人こそ生涯の宝物です。

第三点は、留学や海外研修に積極的にチャレンジすることです。若いうちに外国に出てみると、学問の必要性を痛感し、また日本の良さを再発見できると思います。本学ではアメリカ、オーストラリア、中国、韓国、台湾などの諸大学と提携関係を構築し、本学の学生の留学を、奨学金を準備して支援しています。留学から帰国した学生の就職先は有名企業が多いこともお知らせしておきます。本学では、皆さんが世界で活躍できるグローバル人材に成長されることを願って、各種の制度を充実させています。



以上のように、本学は、建学の精神に則って21世紀の日本を背負う心豊かで、情操に富み、社会性・倫理性に培われた人材を養成する高等教育機関です。多くの教職員、先輩、友人との出会いを大切にし、学園祖のご遺訓である「努力の上に花が咲く」を心に刻み、中村学園の新たな歴史と伝統を継承する一員になったことを自覚して下さい。

本日の喜びと学問への情熱を長く胸に秘めて、本学の学生であることに誇りを持って、勉学と人格の陶冶に勤しまれることを希望します。本日は、皆さんの大きな夢と希望を実現する第一歩を踏み出す非常に大切な一日です。力強く歩み出して下さい。ご入学おめでとうございました。

短期大学部 | 幼児保育学科



**白石 貴子さん**  
保育士として働くのが楽しみで、早く就職したい気持ちでいっぱいです。短期大学部は2年間と短いですが、友だちをたくさんつくり学内だけでなく学外でも充実した生活を送りたいですね。

短期大学部 | キャリア開発学科



**椎本 涼香さん**  
新しい環境に不安もありますが、やはり楽しみです！アルバイトもはじめたので、勉強との両立を頑張ります。将来についてはまだ考え中。学科での学びを活かせるような仕事に就きたいです。

短期大学部 | 食物栄養学科



**小川 舞子さん**  
調理実習や大学での勉強など楽しみにしていることがいっぱい！サークル活動では弓道とダンスが気になっており、ダンスは未経験ですが、おもしろそうなので見学に行こうと思っています。

〔平成26年度〕

# 学位記授与式



平成27年3月13日、  
本学体育館にて学位記授与式が  
行われました。  
天候にも恵まれ、やわらかな  
日差しに包まれたキャンパスには、  
記念撮影をする卒業生や  
保護者の皆さまの喜びに  
満ちた笑顔が。  
厳かな雰囲気の中、  
式も滞りなく執り行われ、  
たくさんの中村生が社会へと  
羽ばたいていきました。



大学 流通科学部



谷村 尚亮さん(左)

学園祭実行委員会で総務をしていました。卒業後は就職先での仕事に専念していきたいと思っています。在校生のみんな、就職活動がんばってください!

武田 康孝さん(中)

ラグロスに出会ったおかげで、充実した大学生活になりました。少なかった部員を増やすことができ、大勢で楽しく練習できたのが良い思い出です。

田邊 剛志さん(右)

ラグロス部に所属していましたが、創部4年目で初の大会出場を果たせたので嬉しかったです。今後は親に感謝しつつ社会でがんばっていききたいです。

大学 教育学部



穴井 朋宏さん(左)

大学生活の中で特に印象に残っているのは、「カンボジアの子どもたちに学校体育の素晴らしさを届けるプロジェクト」というボランティア活動に参加したこと。今後は小学校の教師として子どもたちの成長のために全力を尽くします!

縄智 洋さん(右)

卒業するのは寂しいけれど、すがすがしい気持ちでいっぱいです。学部で男子が少なかったので、男子同士の仲が深まりました。4月から小学校の先生になるので、この4年間で学んだことを伝えていきたいです。

大学 栄養科学部



山崎 舞代さん(左)

まずは国家試験に全力を尽くし、就職先の病院では、患者さまに寄り添い信頼していただけるような管理栄養士になれるよう努力していきたいです。

杉原 瑛莉菜さん(中)

栄養管理が必要な方々においしい食事が作れるようになりたいです。その前に国家試験に合格するように勉強を頑張ります!

瀧砂 咲さん(右)

私は寮生活を4年間続けたので、ホームシックになりませんでした!3年生になると人数が少なくなつてより仲が深まり、楽しい思い出が増えました。

短期大学部 幼児保育学科



林田 佳子さん(左)

無事にこの日を迎えることができ安心しています。中村では本当にたくさんの方たちとつながることができました。一人ひとり違う県から集まった子たちがこんなに仲良くなれるなんて……。ここでの仲間は一生の宝です!

松下 亜香音さん(右)

今日はゴールではなく新しい人生のスタートの日だと思うので不安もいっぱいです。春から保育園の先生になりますが、中村では同じ夢をもつ仲間との出会いがたくさんあったので心強かったですね。

短期大学部 キャリア開発学科



横尾 早織さん(左)

宿泊研修に行った際、みんなと一緒に学園歌を歌ったことが楽しい思い出として心に残っています。これから就職先では、秘書について学んだことを活かしていきたいです。

青柳 歩さん(右)

この日を迎えてなんだか寂しい気持ちもありますが、「新しい生活がはじまるんだ!」という期待感で胸がいっぱいです。とにかく全力で過ごした2年間でした。春からは販売の仕事に就くのが楽しみです!

短期大学部 食物栄養学科



徳永 麻衣さん(左)

卒業式を迎え、これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちでいっぱいです。高齢者住宅の栄養士として働きますが、これまで誰かに助けてもらった分、これからは誰かの役に立てる人になりたいと思います。

野元 有紀さん(右)

母が働く姿をそばでずっと見ていたので、その影響もあり、春からは子どもたちを食事面から支える栄養士として働きます!食べる人のことを思って食事を提供できる栄養士になり、子どもたちの成長を助けていきたいです。

PICKLES

私たち『PICKLES(ピクルス)』メンバーが、新入生&卒業生のインタビューを担当しました!

ピクルスの卒業生コメント



流通科学部 川崎 亜香音さん

広報アシスタントの仕事の中で、他学部の取材を行ったので、大学の全体を知ることができました。みんなで一からピクルスを立ち上げて、それが実際に広報誌セロリに掲載するまでに至ったので、達成感に満ち溢れています。中村にとっての誇りと思われるように今後もがんばります!

流通科学部 高木 良輔さん

ピクルスの活動で特に印象に残っているのは、お弁当の企画。調理自体も大変ですが、それに伴う準備・後片付けの大変さを実感しました。ピクルスは、学年や学部・学科を超えて活動できるまたとない機会。興味のある学生にはぜひ参加してもらいたいですね。

『PICKLES』は、本学のスチューデントジョブ制度に登録している広報アシスタントが主体となった学生チームです。

教育学部3年 標山 佑樹さん

流通科学部3年 大津 涼太郎さん

栄養科学部3年 山道 奈緒さん

流通科学部4年 河津 舞子さん

流通科学部4年 家村 善輔さん



# 60周年記念事業



## コミュニケーション

コミュニケーションが自然と生まれるラーニングスペースや溜まりの空間を随所に設けました。

## セーフティ

地震の揺れが伝わりにくい免震構造を採用し、安全安心な環境を整えました。また、ユニバーサルデザインで情報を分かりやすく提供し、円滑な移動を促します。

## エコロジー

自然採光を活かした吹き抜け空間や、外光を検知し、室内の照明を自動的に減光する照度センサーを設けるなど、自然環境を活用した心地よい空間を実現しました。

## 新実験実習棟が完成！

「本学の建学の精神「教育研究の基本理論と実際の統合を図り、学問と生活の融合を重んじ教育と研究に努める。」の充実、向上を図ることを目的に、新実験実習棟（7号館）が完成しました。」



## 第13回日中薬膳セミナー

### 「薬膳を食べて学んでヘルシーライフ」

平成27年2月28日、3月1日の2日間にわたり、本学にて上海中医薬大学との共催による第13回日中薬膳セミナー「薬膳を食べて学んでヘルシーライフ」が開催されました。このセミナーは、薬膳理論の基礎や薬膳調理に焦点をあてるとともに特別講演として中国茶の各専門家を国内外からお招きし、中国医学、食品機能、幅広い薬膳への理解を促すもので、学校法人中村学園創立60周年記念事業の一環として行われ、当日は、各現場で活躍する栄養士・管理栄養士をはじめ食品開発関係者等約90名が参加しました。



協賛：西部ガス株式会社  
公益財団法人江頭ホスピタリティ事業振興財団

中村学園60年史

iBooks版

中村学園の歴史を記す史書として、「中村学園60年史」を編纂、発行しています。このたび、デジタルブック版に次いでiBooks版を本学ホームページに掲載していますので、ぜひ、ご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www.nakamura-u.ac.jp/gakuen/history/year.html>



# 先輩に 会いたい!

さまざまな現場で活躍する  
中村の卒業生をインタビュー!  
先輩たちの“今”を紹介します。



OB・OG  
interview  
vol.01

病院の管理栄養士として働く  
栄養科学部出身の梶原 亜希さん。  
中村に入学したきっかけや  
大学時代の思い出、  
現在の仕事内容や目標について  
お話を伺いました。



梶原 亜希さん aki kajihara  
平成19(2007)年度 栄養科学部栄養科学科卒業  
勤務先: 公立学校共済組合 九州中央病院  
医療技術部 栄養管理科

## 人生を大きく変えた スポーツ栄養との出逢い

高校時代、野球部のマネージャーをしていたのですが、その時にスポーツ栄養について知ったのが中村に入学するきっかけになりました。私がおもとも目指していたのは管理栄養士ではなく看護師。スポーツ栄養士の方の、「栄養がプレーの良し悪しを決める」という話に衝撃を受け、この分野に興味をもち進路変更したんです。また、その頃はとても太っていたので、自分の体や食べる物に責任をもてるようになっていきたかったのも理由の一つでした。

実際に入学すると、臨床や給食管理の授業がほとんどだったので、実はちょっとがっかりしたことも。でも今となっては、栄養と病気に関する学びなど、4年間の大学生活で身につけたことは現在の仕事にしっかりと活かされていると実感しています。

私は鹿児島県出身なので、実家を離れ最初の一年は寮生活だったのですが、友だちもたくさんできたし本当に楽しかったです。

## 患者さまに必要とされる 管理栄養士でありたい

最初に就職したのは料理教室。でも、管理栄養士としての仕事がありません。道を模索しながら受託給食会社、そして老人介護保健施設へと転職しました。



施設で出会ったのは、脳梗塞などの疾患を抱えながら老後を過ごす方々。もし、もっと早い段階で食事の指導ができていたら...と考えるようになり、病院への転職を決めました。ここにはさまざまな患者さまがいらっしゃるのので、たくさんの方の知識が必要です。研修会に参加したりいろいろな本を読んだり勉強は大変ですがやりがいを感じています。

私の主な仕事は、入院患者さまのベッドサイドへ訪問して食事摂取状況の把握や栄養状態を評価するほか、入院・外来栄養指導や献立・発注業務など。今年の夏に新厨房が完成する予定なので、今は新調理のレシピやマニュアルの作成も行っています。今後は、資格取得などでスキルを磨くともにもっと患者さまのお話を聞き、必要とされる管理栄養士でありたいですね。

／在学生インタビュー／

# がんばれ！ 中村生

普段の勉強や部活動、課外活動など、  
中村には何かに頑張る学生がいっぱい！  
そんな魅力ある中村生たちをご紹介します。

学生生活の中で  
いろいろな経験ができるのも  
中村の魅力なんだね

目標に向かって  
がんばる学生は  
やっぱり輝いてる！



【右から】  
PICKLES(ピクルス)メンバー  
流通科学部3年 大津 涼太郎さん  
流通科学部4年 河津 舞子さん  
栄養科学部3年 山道 奈緒さん

Q

「八女もちっ茶」、  
「抹茶&玉露フィナンシエ」  
誕生の経緯を教えてください

吉田：私たちのゼミは商品開発について学  
んでいるのですが、茶葉の消費量低下や高



パッケージの見本を手に笑顔の平林彩奈江さん(写真左)と吉田彩香さん  
(写真右)。商品は日本橋菓房株式会社とのコラボレーションで誕生しました

## ”学生たちのアイデアが商品化！” 八女を元気にする“お菓子”

流通科学部4年 吉田彩香さん・平林彩奈江さん

齢化、九州北部豪雨の被害などの課題を  
抱える八女の茶農家さんを商品開発で  
援できないか、と考えたことが始まりで  
す。

平林：実際に現地を訪れ、生産者の方のお  
話を伺ったことで「八女茶を使ったお菓子  
で、八女を応援したい」という  
想いが生まれました。

Q

商品を開発する中で  
苦労した点は？

吉田：八女の美しい風景や八女  
茶のおいしさが伝わるパッケー  
ジデザインにこだわったのです  
が、自分たちの頭の中にあるイ  
メージをデザイナーさんに伝え  
るのが難しかったです。



イメージしたパッケージに仕上がるまで  
デザインは何度も修正を重ねたそう

Q

この商品開発の経験を  
どう活かしたいですか？

吉田：私は食品関係の仕事に就きたいと  
考えているので、今回の経験を活かし、  
将来は地域の活性化につながる商品の開発  
に携わることができたら嬉しいです。  
平林：まだ具体的な将来の目標は決まっ  
ていないのですが、「八女もちっ茶」の開発  
を通して身につけた力は、どこでも活か  
せるものだと思います。



展示会でPRする平林さんと吉田さん。商品は4月から  
福岡県を中心に大手小売店で販売されています

# カンボジアの子どもに 体育教育を伝えたい

教育学部3年 飯田海人さん



**Q** プロジェクトについて  
詳しく教えてください

体育教育を受けていないカンボジアの子どもたちに、その素晴らしさを届けるプロジェクトに参加し、10日間ほど現地に行ってきました。私が行った際のテーマは運動会を開催すること。運動会を通して運動を好きになってもらえたら、というのが目的です。参加は自費なので、自動車学校に行くために貯めていたお金を使ってみました。

**Q** 実際に現地に行ってみて  
どうでしたか？

暑さや食べ物など苦労は多かったのですが、貴重な経験ができたので良かったなと思います。子どもたちが何をして楽しそうだったのが印象的でした。例えば、2列になって歩くだけでも本当に嬉しそうで、キラキラした笑顔を見せてくれるんです。



滞在中に2つの学校で運動会を開催

**Q** 今後の目標は？

最終的には現地の先生方だけで運動会ができるようになる、というのが目標なので、また行ってその様子を見たいなと思っています。将来は小学校の教員を目指しているので教育実習もあるのですが、勉強とバイトを両立させてまた渡航する費用を貯めたいですね。カンボジアの体育教育普及に少しでも役立つことができたらと思います。

# インターンシップで 将来役立つ力を磨く！

キャリア開発学科2年 畠中華菜子さん

**Q** 将来の目標は何ですか？

現在、大学内でインターンシップをさせていただけていますが、将来は交通業の企業に事務職として入れたらと考えています。子どもの頃からずっとバスを利用していたのですが、「こんな風にお客さまと関わることができる仕事っていいな」と思っていたんです。宮崎県出身なのですが、就職は地元でと決めています。

**Q** インターンシップを通して  
身についたことは？

コミュニケーション力や報告・連絡・相談の「ホウレンソウ」が身についたと思います。電話や来客の対応は難しく大変でした



バスや自転車の整備経験  
や業務のほかに、コンテナの仕事も経験



**Q** 残りの学生生活で  
挑戦したいことは？

一つでも多くの資格を取得したいです。現在、日商PC検定(文書作成・データ活用)の3級と秘書検定の2級を取得していますが、簿記と医療事務にもチャレンジしたいと思っています。就職活動と資格の勉強をうまく両立したいです。



新連載!

CELERY

# 誌面講座

第1回

毎回、本学の教員が、誌面上で「CELERY」ならではの講座を開講。日常生活にも役立つさまざまな情報を発信します。

# いつまでも元気で、 楽しい毎日を!

寝たきりや要介護の要因として上位を占める「認知症」と「ロコモティブシンドローム」について、誰もが抱く「いくつになっても元気に過ごしたい」という願いを実現するためのヒントをご紹介します。



熊原 秀晃講師  
栄養科学部  
専門分野・運動生理学・応用栄養学



中野 裕史准教授  
教育学部  
専門分野・運動生理学・神経科学

## 脳を使わない

### 生活習慣病「認知症」

厚生労働省の発表によると、65歳以上で認知症を患っている人の数は2012年時点で全国に約462万人にのぼり、2025年には700万人を超えると言われています。さらに、認知症の予備軍ともいえる軽度認知障害の人が約400万人も存在し、加齢とともにその半数が認知症へと進行していくと言われています。

認知症の原因のほとんどは、アルツハイマーや脳血管疾患などの病気によるもので、軽度認知障害は日頃から人とあまり接することなく、家の中だけで過ごしつづいた脳を使わない生活の積み重ねが原因の一つです。つまり、認知症は特殊な病気ではなく、脳を使わない生活を続けていると誰でもなり得る

可能性があるというわけです。

多くの人は60歳頃になると、脳の老化に伴い記憶力も衰えてくるので、初期の段階は単なる物忘れに見えがちですが、実は違います。健康な人の物忘れは「印鑑をしまった場所を忘れた」状態です。認知症による物忘れは「印鑑をしまったこと自体を忘れた」状態。しかし、軽度認知障害は日常生活ではほとんど支障がないため、見過ごしてしまうことも少なくありません。認知症は早期発見が何より重要です。数年前から、全国各地の自治体で認知症予防検査「ファイブログ」が取り入れられています。記憶力の低下が気になってきた人、また自分の状態を知りたい人、予防のために一度チェックしてみると良いでしょう。

※「ファイブログ」：軽度認知障害の時期に低下する記憶、注意、思考の認知機能の状態を評価するために、東京都老人総合研究所で開発された集団認知機能検査。

## 健康寿命の最大の敵

### 「ロコモティブシンドローム」

最近、よく耳にする「ロコモティブシンドローム(略称ロコモ)」とは、骨・関節・筋肉などの運動器の機能が低下し、歩行や日常生活に何らかの支障をきたしている状態のことです。年齢とともに運動

器の機能は誰もが衰えますが、さらに交通機関の発達により日々の運動量が減っていることや、ダイエット意識の過剰な高まりによる行き過ぎた粗食化なども、足腰の衰えを進行させる大きな要因です。

ロコモが進行すると、外出はもちろん、トイレにも一人で行けなくなり、日常生活の自立度の低下をもたらしま

思い当たることはありますか?

## 7つのロコモチェック

年齢に関係なく一つでも当てはまれば、ロコモかもしれません。

- 片脚立ちで靴下がはけない。
- 家の中でつまずいたり、滑ったりする。
- 階段を上がるのに手すりが必要である。
- 横断歩道を青信号で渡りきれない。
- 15分くらい続けて歩けない。
- 2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難である。(1Lの牛乳パック2個程度)
- 家のやや重い仕事が困難である。(掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど)

※公益社団法人日本整形外科学会ロコモパンフレット 2014年版より転載し改変

す。また、ロコモは、肥満や糖尿病、認知症とも関連していると考えられます。特に高齢者のロコモは、骨折や転倒を起こしやすくなり、それがきっかけで寝たきりや介護が必要になるリスクも高く、要支援・要介護要因の上位という調査結果もあります。そうした危険性を防ぎ、健康寿命を延ばすためにも、早めの対策が大切なのです。

## 運動、外出、家事… 日常生活を活動的に

脳も筋肉も使わなければ、加齢とともに衰えてきます。どちらもピークは20〜30代。そうした若い時期から、適度な運動で脳や筋肉に刺激を与えておくことが、健康維持や老化防止につながるのです。

認知症予防に大切なのは、考えながら動くこと。運動に限らず、季節の植物を楽しみながら散歩したり、趣味の講座などに出かけたりするのも良いでしょう。また、ハードな運動をする必要はありません。運動習慣のない方は、今の活動から毎日プラス10分、身体を動かすことから始めましょう。決して無理せず、自分の体力に合わせて適度な運動を習慣づけることが大事です。

ぜひ、日常に無理なくできる運動習慣を取り入れて、いつまでも自分らしく、いきいきと活動的な生活を送りましょう。

# EXERCISE

## 簡単エクササイズ

### ヒップエクステンション (大腿部背面・でん部)



腰を反らさないように注意しながら、かかとから足を後ろに上げる(3秒くらいかけてゆっくりと)。

椅子に体重をかけないように、背筋を伸ばしてまっすぐ立つ。

### スクワット(大腿部前面・大腰筋)



膝がつま先より前に出ないように、またつま先と膝が同じ方向に曲がるように注意して、椅子に座るように膝を曲げる(3秒くらいかけてゆっくりと)。

肩幅に広げた足をハの字に広げ、背筋を伸ばして両腕を前に伸ばす。

栄養科学部  
熊原 秀晃講師

## 「ロコモ予防トレーニング」 自分に合った安全な方法で行いましょう！



「ラダー」という梯子状の道具を使うトレーニング。全身でリズムをとりながら、右・左と足踏みしてマス目を進むなど、いろいろなパターンがある。いずれも最初はゆっくりと正しい動作で、徐々にテンポとスピードを上げていく。

## 「認知症予防のラダートレーニング」 身体を動かしながら、脳を鍛えましょう！

運動は自己流でやり過ぎると逆効果に。痛みがある場合は専門家に相談しましょう。

気候のいい季節は、外へ散歩に出かけましょう。15分以上歩くことをおすすめします。



教育学部  
中野 裕史准教授



この授業に  
**注目!**

学園長 中村量一先生



# 中村学

中村学園ならではの授業や学生に人気の授業など、ユニークな講義や実習を紹介します。

村ハル先生の教えを直接受け継いでいる先生方がオムニバス形式で講義を行います。

また、卒業生の話や講談師・神田紅師匠による「中村ハル物語」を実際に聞いたり、短期大学の卒業生であるタレントの山本華世さんを講師としてお迎えする回も。全15回の授業を受講した後は、中村学園大学に入学したことを誇りに感じ、大学をより好きになるはずです。

◀ 中村学園の学生もという  
自覚と誇りをもつ

「中村学」の目的は、入学した大学がどのような学校なのかを知ってもらい、中村学園の学生としてのアイデンティティを形成すること。創設者である学園祖・中村ハル先生がどういった人生を歩み、どのような想いで学園を設立されたのか、中村学園の教育理念である「建学の精神」や歴史などについて、中



## 教務課担当者紹介コメント



『中村学』は平成24年に開講され、今年度で4回目となりますが、年々受講希望者が増えている人気の授業です。自分の大学の歴史や学園祖の想いを知り「建学の精神」に触れることで、大学生活が変わりますよ!

教務課  
松村 紗織さん



今回は学園長である中村量一先生が、「建学の精神」についてのお話をされました

## ▶▶▶ Student's Voice

入学前からパンフレットで「中村学」のを知り、「どんな授業なんだろう」と興味をもっていましたが、中村学園大学についてあらためて考える良いきっかけになったと思います。山本華世さんのお話も聞けるので、今後も楽しみです。

栄養科学部1年 小田 綾乃さん



もともと中村ハル先生のことは知っていたので、この授業で詳しく話を聞くことができ嬉しかったです。思っていた通り素晴らしい先生だったのだと知り、「私も中村でがんばって学んでいきたい」と決意を新たにすることができました。

栄養科学部1年 中村 美優さん





お揃いの衣装が素敵な『フラダンス部』は、  
女子学生ばかり22名で活動中。その練習にお邪魔しました!

COLUMN

# CLUB & CIRCLE

クラブ&サークル



大学では九州唯一!地域の方に愛される「ナカムラフラガール」たち

イベントや発表会など  
たくさんさんのステージが  
上達と成長につながる

外部から専門のコーチを招き、日々の練習と真剣に向き合っているという『フラダンス部』。春休みのため、残念ながらこの日の参加者は少なかったのですが、普段は22名で活動しています。

昨年の5月に同好会から部になっただけですが、イベントや発表会への参加など、同好会時代から活動内容はかなり幅広く、年中大忙し。大学のイベントや地域のお祭りに出演するほか、城南区の子どもたちにフラダンスを教えるなど引っぱりだこの人気者です。特に、学園祭の時期になると休日がほとんど埋まってしまい、「練習が間に合わない!」と慌てることもあるのだとか。5月の『博多どんたく』には毎年出場していて、天神でも城南区でも踊っているそうです。

「イベントの出演は、最初はとても緊張したのですが、経験を積むうちに笑顔で踊れるようになりました。呼んでいただけるのがとても嬉しいです」と話すのは、部長を務める栄養科学部3年の古賀あずささん。「大学から始めたという人ばかりなので、初心者でも安心して見学に来てくれたら」と、新入生の訪れを楽しみにしています。



城南区では、小学生にフラダンスを教えたり、行事に参加させていただき、地域の方々と触れ合うきっかけとなっています。



ゆったりとしたものから早い動きのものまで、さまざまな曲を練習します

フラダンスはいつになっても続けられるのが魅力。健康の維持にも役立ちます

UR都市機構との連携  
—UR金山団地—

中村学園大学とUR都市機構は、平成26年10月に締結した連携協定に基づき、地域住民に対する健康増進に係る取り組みを実施しています。

この度、UR金山団地（福岡市城南区）を舞台に次のような取り組みが行われました。

●食べている食塩量の「見える化」プロジェクト結果報告会

栄養科学部安武健一郎准教授、三好恵美子准教授の指導のもと、UR金山団地の住民30名を対象に、尿から食塩摂取量を推定する測定器の利用と食事調査を基にした自身の食べている食塩量を見える化するプロジェクトを進



めています。

平成27年1月15日、金山団地にて、プロジェクトの結果報告及び健康増進に関するミニ講演会が行われました。この取り組みは、調査を受けた方自身が「見える化」された食塩量を知ることによって減塩意識が高まるかを把握し、減塩を

通じて「未病（病気になる前）」段階の健康を保持し、健康寿命を延伸し、ひいては増え続ける我が国の医療費の削減を企図するもので、今後も継続して実施する予定です。

●タブレット型パソコン講座

平成27年2月15日、金山団地の60歳以上の住民20名を対象としたタブレット型パソコン講座が開催され、流通科学部の学生が講師を務めました。この講座は、学生の活動による団地の方々とのふれあいを通じて、地域の活性化や学生自身の成長を目指しています。講座では流通科学部の2年生7名が講師を務め、受講者はインターネット、タブレット型パソコン、スマートフォンなどの仕組みや利便性について実物に触れながら学びました。参加した学生は昨年からの準備を始め、受講者が興味を持



ちやすい題材を検討し、文字の大きさやわかりやすい画像など高齢者に配慮したテキストを準備したほか、受講者の理解を深められるように模擬講座を繰り返し練習して、本番に臨みました。

大学生が産地を取材！美味しい福岡発掘プロジェクト  
「福岡のお福わけせんべい」発売

流通科学部後藤ゼミでは、企業における商品開発の重要性や新商品の企画プロセスを学び、産学官連携による実践的な商品開発・マーケティング活動に取り組んでいます。

ゼミでは、2013年春より福岡県水産海洋技術センターと共同で、福岡産水産物の認知度向上と消費拡大を目的としたプロジェクトに取り組んできました。多数の漁場を有する福岡県では、漁

獲時期や量、サイズが安定しない等の理由から通常の流通に乗せることが難しい水産物の有効活用が大きな課題となつています。

学生らは、そのような水産物の中からヘルシーで美味しい食材として注目を集める反面、船のスクリーンに絡みついて漁師たちを悩ませる海藻「アカモク」と、高級食材として知られるシバエビのサイズの小さなものが季節的に大量漁



獲され魚価が低迷していることに着目し、これらを手軽に美味しく食べられるように「せんべい」として加工することを考案、株式会社博多風美庵（福岡市南区）の協力を得て商品化されることにな

りました。

今回のプロジェクトを通じて、福岡の海には良質な天然の海藻やエビがたくさん獲れることを初めて知った学生らは、福岡県の素晴らしい水産物（福）をたくさんの方に味わってほしいという想いを込め、商品名を「福岡のお福わけせんべい」と名付けました。また、その想いを学生たち自ら伝えようと、商品の発売に合わせてPR販売を実施することになり、平成27年3月1日、JR博多駅キヨスク2号売店にて学生によるプロジェクトの活動紹介や商品の試食販売が行われました。



## 福岡県主催 『あまおう祭り』に 学生が出店



平成27年2月28日、3月1日の2日間、福岡市役所前ふれあい広場にて福岡県主催「あまおう祭り」が開催され、短期大学部食物栄養学科の学生約30名が参加しました。このイベントでは福岡県産の野菜や果物、福岡県産の食材を使った商品が販売され、学生は「福岡県産野菜のキッシュ」と「絶品ミネストローネ」を販売しました。

会場には、多くの方が足を運び、甲斐屋長も来訪して学生へ激励の言葉をかけられました。学生のアイディアが詰まった商品は予想以上に好評で、追加調理に追われていました。この経験を通して学生は、地産地消、地域の活性化の大切さや、商品の良さを伝える事の難しさを学び、当日は、さまざまな出店を巡りながら福岡県の地場産物に舌鼓を打ちました。

### 料理のポイント

#### 福岡県産野菜のキッシュ



フランスの郷土料理で、福岡県産のぶなしめじ、なばな、牛乳をふんだんに使い、少し苦みのあるなばな菜の分量の調節が難しかったそうです。

#### 絶品ミネストローネ



福岡県産のフレッシュトマトと酸味を和らげるためのホールトマトを合わせて使うことで味のバランスを調えたところがポイント。

## 筑前町 「食の都づくり」 2014公開講座

本学と筑前町は、包括連携協定を締結しており、食を核とした地域活性化事業に取り組んでいます。この講座は連携事業の一環として、平成23年度から筑前町民を対象に実施しています。平成26年度は下記の内容で行われました。

### 中牟田町健康講座 (中牟田町公民館・参加者58名)

開催日：平成26年12月7日

テーマ：「旬の食材で健康生活  
—あったかお鍋で地産地消—」

講師：食物栄養学科 准教授 松隈美紀



### 筑前町健康体操講座 (筑前町コスモプラザ・参加者43名)

開催日：平成26年12月20日

平成27年1月24日

テーマ：「リズムにのってロコモ予防」

講師：流通科学部 准教授 音成陽子



### 「食と健康」についてのアンケート調査

平成26年12月、本学と筑前町によって作成したアンケートを筑前町住民(65歳以上)約200名に実施。平成27年1月～3月に大学にて入力・集計・分析を行い、平成27年6月、筑前町で行われる講演会にて報告を行う予定です。

## 食育・地産地消 県民大会開催

中村学園大学・中村学園大学短期大学部と福岡市農業協同組合(JA福岡市)、福岡県農業協同組合中央会(JA福岡中央会)は、平成24年5月に連携協定を締結しており、平成24年度より、学生が農業体験や加工・販売体験を通して農業関係者と共感し合いながら、食や農業への理解を深め、豊かな感性と自ら生きる力を養うことを目的とするアグリスクールを開講しています。

平成27年2月19日、JR博多シティ「JR九州ホール」にて食育・地産地消ふくおか県民会議及びJA福岡中央会が主催する「食育・地産地消県民大会」が開催され、会場には約300人もの参加者が集まりました。この大会は、食や食を支える農林水産業の大切さを県民みんなで考えることを目的としており、当日は、ふくおか農業応援団体表彰式や、基調講演、アグリスクール活動収益金贈呈、大学生パネルディスカッションなどが行われ、本学の学生が参加しました。



はじめに、食育・地産地消



はじめに、食育・地産地消

くおか県民会議倉重副会長及び小川福岡県知事からご挨拶が述べられ、引き続きふくおかの農業応援団体表彰式・優良事例発表が行われました。「ふくおかの農業応援団体」とは、県産農林水産物の消費拡大につながる取り組みや、農山漁村地域で社会貢献活動を通して福岡の農林水産業の活性化に取り組む企業・団体です。基調講演では、助産師の内田美智子氏から「食べることは生きること―心と身体を育む食の力―」をテーマに家庭での食事の重要性についてのお話がありました。

続いて、アグリスクール参加者を代表して本学食物栄養学部山道奈緒さんからアグリスクール活動収益金の贈呈が行われました。これは、昨年11月30日に開催された「博多じょうもんさん天神市場」で販売した、アグリスクール収穫野菜の収益金を震災復興支援として寄付するものです。

最後に、大学生のパネルディスカッション「若い力が食や農業を変える!!」が行われました。パネリストには本学から大学生対抗グルメ選手権に出場した栄養科学部永末ゆりさんと、アグリスクールに参加した教育学部鮫島誠征さんが参加し、農業現場での生産者との交流や活動体験から学んだことを発表し、自身の活動を通して農業や食に対する意識の変化や将来に向けた抱負などを述べました。



自身の活動を通して農業や食に対する意識の変化や将来に向けた抱負などを述べました。

**中村ハル育英奨学基金  
規程による  
総合GPA優秀者表彰**

平成26年度学位記授与式において、中村ハル育英奨学基金規程による、平成26年度総合GPA優秀者に表彰状と純金製のメダルを配した盾が贈られました。

短期大学部 食物栄養学科 平山みゆき  
キャリア開発学科 長門 佑実

幼児保育学科 山科 成美  
栄養科学部 栄養科学科 釘本みどり  
教育学部 児童幼児教育学科 堀 香菜子  
流通科学部 流通科学科 油布 彩香

※GPAとは、Grade Point Averageの略です。GPは、学生が履修した科目の成績評価に応じて、秀(4点)、優(3点)、良(2点)、可(1点)、不可・不認定(0点)としています。総合GPAとは、学生が在学中に履修した科目それぞれのGPに、その科目の単位数を乗じて得た値の合計を、全履修登録科目の合計単位数で除して得た値のことです。この数値で、1単位当たりどれだけ高い学習効果があったかが評価できます。

**各協会表彰**

学位記授与式当日、学長室にて平成26年度各協会表彰式が行われました。これらは、免許資格取得者(栄養士・保育士・フードスペシャリスト)のうち特に優秀な成績で卒業する学生を各協会が表彰するものです。

●**全国栄養士養成施設協会  
理事長表彰者**  
短期大学部 食物栄養学科 馬場 桃子  
栄養科学部 栄養科学科 秋山 舞

●**全国保育士養成協議会  
会長表彰者**

短期大学部 幼児保育学科 山科 成美  
教育学部 児童幼児教育学科 堀 香菜子

●**日本フードスペシャリスト  
協会会長表彰者**

短期大学部 食物栄養学科 南嶋 円美  
●**全国栄養士養成施設協会主催  
栄養士実力認定試験成績優秀者**  
短期大学部 食物栄養学科 平山みゆき

**教員の表彰**

平成27年3月、片山富弘教授(流通科学部)が、East Eurasia Inter-Regional Conference of the 東アジア企業経営学会の2014年度学会賞を受賞しました。これは、著者及び業績に対して表彰されたものです。



片山富弘教授

**春のオープンキャンパス**

平成27年3月21日、春のオープンキャンパスが開催されました。



オープニングは、和太鼓部の演奏で賑やかにスタートし、入試や就職・学生生活に関する個別相談、教員による学部学科紹介をはじめ、栄養士系、幼児保育・児童教育

**福岡市  
「野菜料理レシピ  
コンテスト」受賞**

平成26年12月17日、福岡市が主催する「野菜料理レシピコンテスト」の表彰式が行われました。福岡市では、平成25年6月に「健康日本21福岡市計画」を策定し、家庭・職場・地域などあらゆる場面で健康づくりを進めています。この度、野菜摂取量の増加を目的として野菜料理レシピコンテストが実施され、日々の食生活に役立つアイデア満載の86の応募作品の中から6作品が受賞し、そのうち3作品は本学学生が考案したレシピが入賞となりました。

レシピは福岡市ホームページ ([http://www.city.fukuoka.lg.jp/hofuku/shika-eiyo/life/kenko-dukuri/plusonevegi\\_2\\_2.html](http://www.city.fukuoka.lg.jp/hofuku/shika-eiyo/life/kenko-dukuri/plusonevegi_2_2.html)) にも紹介されています。

●**時短レシピ部門  
「大賞」**

「野菜」  
豆乳グラタン  
須藤 早耶さん  
(栄養科学部3年)



●**審査員特別賞**

「夏野菜と  
おきょうとのマリネ」  
小柳 沙織さん  
(平成27年3月  
短期大学部  
食物栄養学科卒業)



●**こどもとつくる  
野菜レシピ部門  
「大賞」**

「じゃがコロンもち」  
山崎 里穂さん  
(栄養科学部3年)



# 教職員の動き

## 採用人事(平成27年4月1日付)



法人本部財務部部長  
大石 勇治  
教授(大学・栄養科学部)  
河手 久弥  
教授(短大・食物栄養学科)  
島田 淳巳  
教授(短大・食物栄養学科)  
三堂 徳孝  
准教授(大学・教育学部)  
西村 敬子  
講師(大学・教育学部)  
岡田 充弘  
常勤助手(大学・栄養科学部)  
安藤 優加  
常勤助手(大学・栄養科学部)  
甲斐田遥香  
常勤助手(大学・栄養科学部)  
能口 健太  
常勤助手(大学・栄養科学部)  
御手洗早也加  
学部・大学院事務室室員  
鶴 英子

## 平成27年度役職者

学生課課員  
あさひ幼稚園常勤講師  
西村 智佳  
学長(大学・短期大学部)  
津田 博子  
大学院栄養科学部研究科長  
望田 研吾  
大学院教育学研究科長  
山田 啓一  
大学院流通科学研究科長  
中野 修治  
栄養科学部部長  
三成 由美  
栄養科学部部長補佐  
岩本 昌子  
栄養科学部部長補佐  
相良 康弘  
教育学部部長  
笠原 正洋  
教育学部部長補佐  
片山 富弘  
流通科学部部長  
浅岡 由美  
流通科学部部長補佐  
木下 和也  
流通科学部部長  
小田 隆弘  
食物栄養学科主任  
阿部志磨子  
キャリア開発学科主任  
梶田 鈴子  
幼児保育学科主任  
図書館長  
増田 隆  
薬膳科学研究所長  
大塚絵里子(短大常勤助手)  
発達支援センター長  
あさひ幼稚園常勤講師  
流通科学研究所長

西村 智佳  
甲斐 論  
津田 博子  
望田 研吾  
山田 啓一  
中野 修治  
三成 由美  
岩本 昌子  
相良 康弘  
笠原 正洋  
片山 富弘  
浅岡 由美  
木下 和也  
小田 隆弘  
阿部志磨子  
梶田 鈴子  
増田 隆  
島内 博行  
内山 文昭  
針塚 進  
甲斐 論

大学付属あさひ幼稚園園長 平田 繁  
大学付属あさひ幼稚園主任教諭 志水 陽子  
大学付属あさひ幼稚園園長 宮坂 明  
大学付属あさひ幼稚園主任教諭 樋渡紗由里  
●昇任・昇格人事(平成27年4月1日付)  
教授(大学) 吉川 昌子(大学准教授)  
教授(大学) 木下 和也(大学准教授)  
教授(短大) 宮坂 明(大学准教授)  
准教授(大学) 山田 朋子(大学講師)  
准教授(大学) 後藤 恵美(大学講師)  
准教授(短大) 内田 和宏(短大講師)  
講師(大学) 竹嶋美夏子(大学助教)  
助教(大学) 小野 美咲(大学助教)  
助教(大学) 倉原 弘子(大学助教)  
●常勤教員から専任教員への人事(平成27年4月1日付)  
助手(大学) 岩本 華奈(大学常勤助手)  
助手(大学) 五郎丸瞭子(大学常勤助手)  
助手(大学) 山本 健太(大学常勤助手)  
助手(大学) 谷口 亮介(大学常勤助手)  
助手(大学) 川原 愛弓(短大常勤助手)  
助手(短大) 伏谷 仁美(短大常勤助手)  
助手(短大) 大塚絵里子(短大常勤助手)  
あさひ幼稚園教諭 古賀 千里(あさひ幼稚園常勤講師)  
豊岐幼稚園教諭 原 真莉子(豊岐幼稚園常勤講師)

●配置換え人事(平成27年4月1日付)  
基礎教育センター教育職員 亀井 憲治(女子中高教諭)  
基礎教育センター教育職員 渡邊 麗子(女子中高教諭)  
教務課課員 石川 貴絵(学部大学院事務室室員)  
女子中高教諭 小山 謙一(養護等セブシ養護員)  
三陽中高教諭 落合淳一郎(養護等セブシ養護員)  
あさひ幼稚園教諭 井上 瞳(豊岐幼稚園教諭)  
豊岐幼稚園教諭 二分 裕美(あさひ幼稚園教諭)  
●退職人事(平成27年3月31日付)  
法人本部財務部部長 中川 幸広  
教授(大学) 青木 英実  
教授(短大) 松隈 紀生  
教授(短大) 相浦 眞一  
教授(短大) 笠井キミ子  
准教授(大学) 橋本 義徳  
准教授(大学) 三堂 徳孝  
講師(大学) 治京 玉記  
助手(大学) 中園 栄里  
助手(大学) 西森 敦子  
助手(大学) 松岡 伴実  
就職課主任推進役 宮元 純孝  
あさひ幼稚園常勤講師 荒木 恵美

# 外部資金等の受け入れ状況

(平成26年11月～平成27年3月受入分)

共同研究	[研究者]	松隈 美紀(食物栄養学科・准教授)
	[研究課題名]	郷土料理としょうゆの品質に関する研究
	[企業名等]	株式会社キッコーマン
	[研究期間]	平成26年11月28日～平成27年3月31日
[金額]	500,000円	
委託研究	[研究者]	相良 康弘(教育学部・教授)
	[研究課題名]	HTLV-1関連疾患の発症に関連する抗体のエピトープバリエーションならびに生体内類似抗原の解析
	[企業名等]	日本赤十字社九州ブロック血液センター
	[研究期間]	平成26年4月1日～平成28年3月31日
[金額]	702,000円	
研究助成金	[研究者]	寺澤 洋子(食物栄養学科・教授)
	[研究課題名]	学校給食におけるメニュー開発
	[企業名等]	JC総研
	[研究期間]	平成26年11月28日～平成27年3月31日
[金額]	300,000円	
研究助成金	[研究者]	寺澤 洋子(食物栄養学科・教授)
	[研究課題名]	学校給食における加工品開発
	[企業名等]	JC総研
	[研究期間]	平成26年11月28日～平成27年3月31日
[金額]	180,000円	
研究助成金	[研究者]	園入 智仁(幼児保育学科・准教授)
	[研究課題名]	兩大戦間期の少年団運動における道徳教育
	[企業名等]	財団法人上廣倫理財団
	[研究期間]	平成26年1月～平成27年12月
[金額]	350,000円	

# 教員の出版物

著者は、本学教員のみ記載  
※頁書き等は発行日現在のもの

**「マーケティングの理論と戦略」**  
岩永忠康 流通科学部・特任教授 編著  
(五紘舎 平成27年3月)

**「英語で楽しむ福岡の郷土料理 増補版」**  
松隈紀生 食物栄養学科・教授 共著  
津田晶子 食物栄養学科・准教授  
松隈美紀 食物栄養学科・准教授  
トーマス・ケイトン キャリア開発学科・講師  
(海鳥社 平成27年2月)

**「食べ物と健康 食品の加工」**  
太田英明 栄養科学部・教授 共著  
(南江堂 平成27年3月)

**「食べ物と健康 食品の科学」**  
太田英明 栄養科学部・教授 共著  
(南江堂 平成27年3月)

**「ライフステージ実習栄養学 一健康づくりのための栄養と食事―第5版」**  
城田知子 中村学園大学名誉教授 共著  
森脇千夏 食物栄養学科・准教授  
内田和宏 食物栄養学科・講師  
(医歯薬出版 平成27年2月)

姉妹校 | 中村調理製菓専門学校

# 調理師科夜間コース 誕生!



大学や短大と専門学校の  
ダブルスクールで調理の  
専門技術と調理師免許を取得!

調理師科  
夜間コース

【入学時期】  
10月または4月



中村学園大学・中村学園大学短期大学部  
在学生向け

**Point.1**

**確かな調理技術の向上**

調理師免許に裏打ちされた専門的な調理技術・知識を得ることで就職活動時に条件・分野が大きく広がる。

**Point.2**

**フレキシブルな通学スタイル**

栄養系学科は大学・短大における履修を一部認定。  
通学日数(週2~5日)によって在籍期間を最短1年6月から最長5年まで延長可能。  
自分のペースで通えるからアルバイトやプライベートとも両立可能。

**Point.3**

**無理のない授業時間**

大学や短大の夏休み・春休み、期末試験期間などを考慮した開講スケジュール。  
授業は、18:30~21:40。大学・短大生専用送迎バスを運行します。

**中村調理製菓専門学校  
調理師科夜間コース学校説明会**

【開催場所】  
中村学園大学 7号館 7504教室

【開催日】  
4月16日(木)、4月21日(火)  
5月13日(水)、5月18日(月)  
6月19日(金)

予約  
不要

【開催時間】  
16時35分~17時05分(5限目)

入学希望者を対象に上記の日程で説明会を開催します。  
※在学生以外の方の方は別途、お問い合わせください。

お問い合わせ先

中村調理製菓専門学校 広報部 〒810-0014 福岡市中央区平尾2-1-21  
TEL092-523-0411(代表) E-mail [staff@nakamura-s.com](mailto:staff@nakamura-s.com)

## 広報誌ゼロリの定期購読について

定期購読をご希望の場合は、購読料(2年分)として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・電話番号を書いた紙片を同封のうえ、学事課宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回(4・7・10・1月)となります。

※保護者の方には毎号送付しています。

【申し込み先】〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1 中村学園大学 学事課「広報誌定期購読申込」係